

温暖化対策等に関するアンケート調査結果

環境管理課

1 調査目的

県では、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出増加による地球温暖化を抑えるために「岐阜県地球温暖化対策実行計画」を策定し、温暖化対策の取組を推進しています。また、気候変動の影響による被害を防止・軽減するために「地域気候変動適応計画」の策定を予定しています。

そこで、県民の皆さんの地球温暖化や気候変動に関する意識などを把握し、今後の温暖化対策等の基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター836人（うちインターネットモニター：507人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和2年7月14日～7月31日

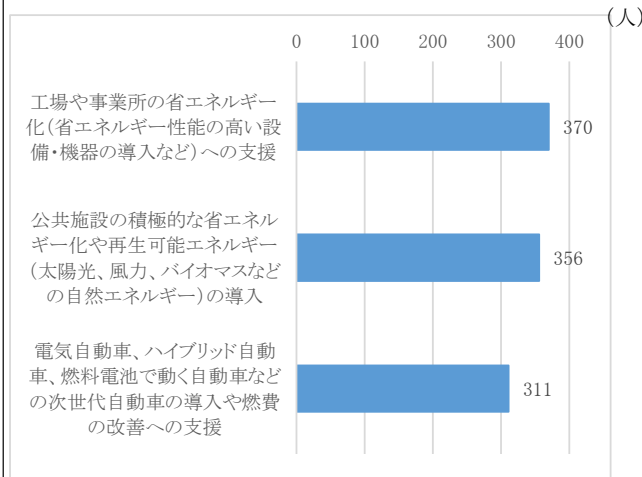
回収結果：744人（回収率89.0%）

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

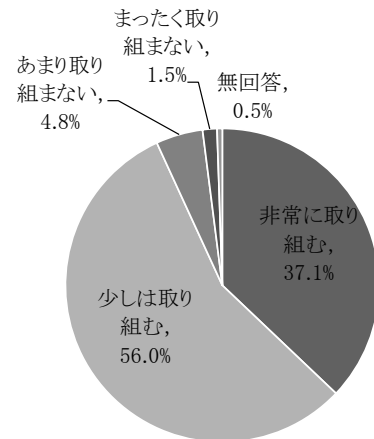
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

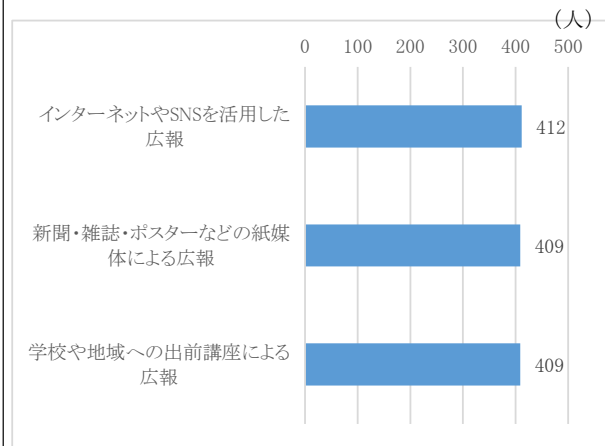
○県が地球温暖化対策として取り組むべきこと（※上位3つ）



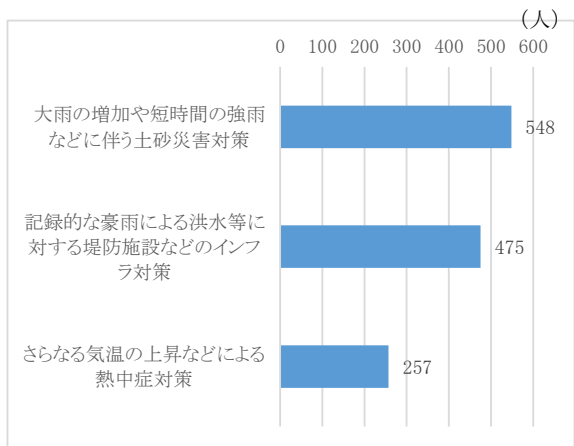
○県が脱炭素宣言をすることによる県民の地球温暖化への取組の促進効果



○県の地球温暖化対策を有効に周知する方法（※上位3つ）



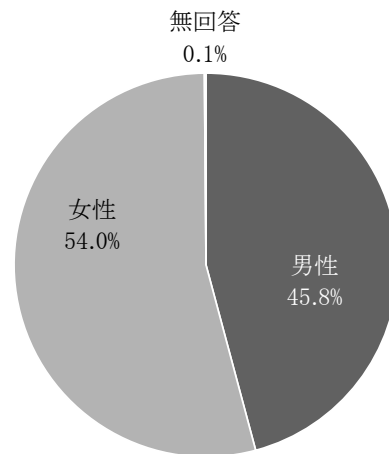
○県に気候変動に伴う影響への対策として取り組んでほしいこと（※上位3つ）



4 回答者属性

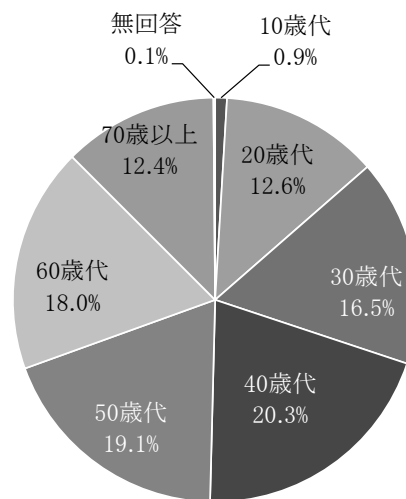
(1) 性別

	人数	割合
男性	341	45.8%
女性	402	54.0%
無回答	1	0.1%
計	744	100.0%



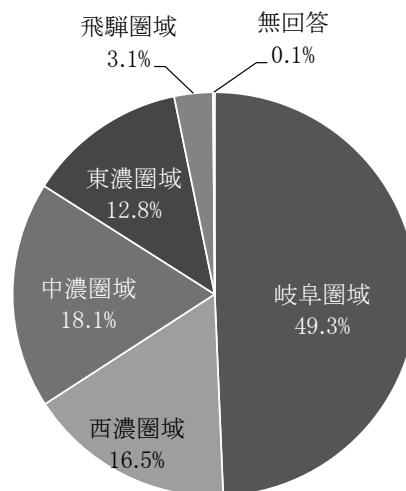
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	7	0.9%
20歳代	94	12.6%
30歳代	123	16.5%
40歳代	151	20.3%
50歳代	142	19.1%
60歳代	134	18.0%
70歳以上	92	12.4%
無回答	1	0.1%
計	744	100.0%



(3) 居住圏域別

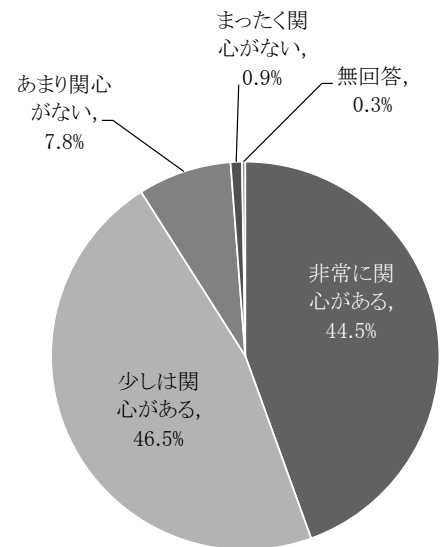
	人数	割合
岐阜圏域	367	49.3%
西濃圏域	123	16.5%
中濃圏域	135	18.1%
東濃圏域	95	12.8%
飛騨圏域	23	3.1%
無回答	1	0.1%
計	744	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、地球温暖化や気候変動について関心がありますか。

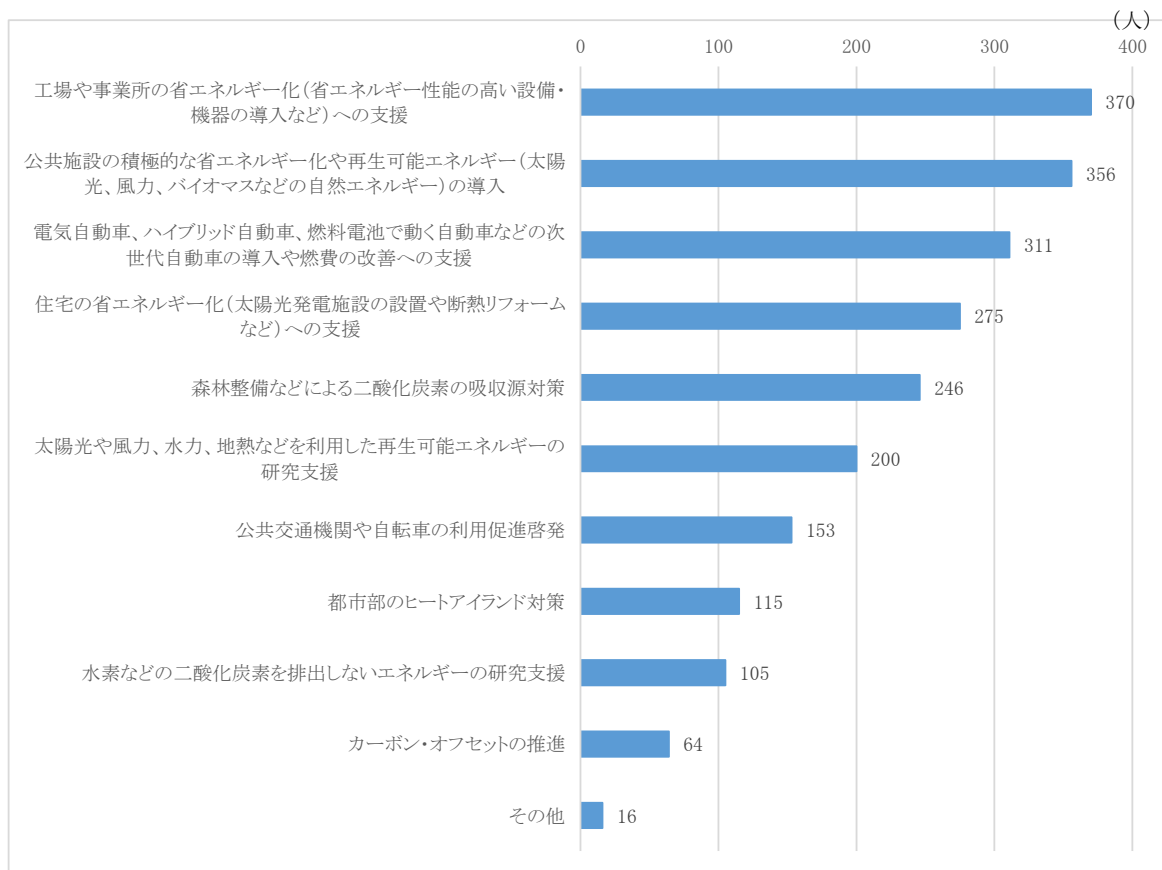
	人数	割合
非常に関心がある	331	44.5%
少しは関心がある	346	46.5%
あまり関心がない	58	7.8%
まったく関心がない	7	0.9%
無回答	2	0.3%
計	744	100.0%



問2 あなたは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減するために、県は、どのような対策に取り組むべきだと思いますか。

(複数回答) 回答者 740 人

	回答数	割合
工場や事業所の省エネルギー化(省エネルギー性能の高い設備・機器の導入など)への支援	370	50.0%
公共施設の積極的な省エネルギー化や再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなどの自然エネルギー)の導入	356	48.1%
電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池で動く自動車などの次世代自動車の導入や燃費の改善への支援	311	42.0%
住宅の省エネルギー化(太陽光発電施設の設置や断熱リフォームなど)への支援	275	37.2%
森林整備などによる二酸化炭素の吸収源対策	246	33.2%
太陽光や風力、水力、地熱などを利用した再生可能エネルギーの研究支援	200	27.0%
公共交通機関や自転車の利用促進啓発	153	20.7%
都市部のヒートアイランド対策	115	15.5%
水素などの二酸化炭素を排出しないエネルギーの研究支援	105	14.2%
カーボン・オフセットの推進	64	8.6%
その他	16	2.2%
計	2,211	-



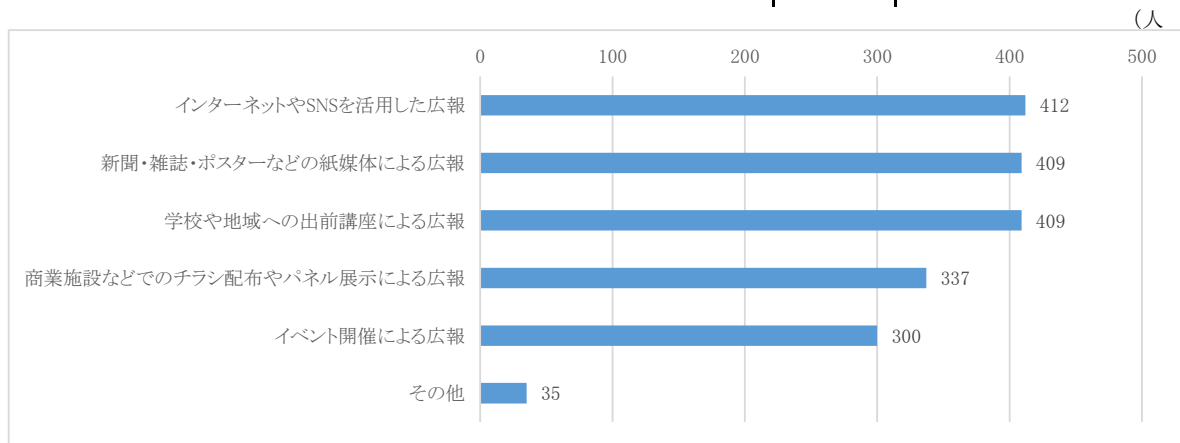
「その他」のうち主なもの

- ・ 小水力発電の普及
- ・ 自転車道の整備

問3 県が取り組む温室効果ガス削減対策を多くの方に知ってもらうためには、どのような方法が有効だと思いますか。

(複数回答) 回答者 739 人

	回答数	割合
インターネットやSNSを活用した広報	412	55.8%
新聞・雑誌・ポスターなどの紙媒体による広報	409	55.3%
学校や地域への出前講座による広報	409	55.3%
商業施設などでのチラシ配布やパネル展示による広報	337	45.6%
イベント開催による広報	300	40.6%
その他	35	4.7%
計	1902	-

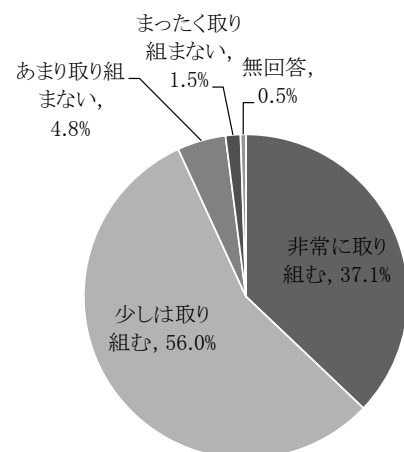


「その他」のうち主なもの

- ・ 各自治会を通じた回覧板
- ・ 市町村の広報の活用

問4 昨今、脱炭素社会に向けて、2050年度までに温室効果ガス排出量の実質ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体が増えつつあります。岐阜県が同様の宣言をした場合、あなたは、積極的かつ自主的に省エネルギー化に取り組むなど、よりいっそう温暖化抑制に取り組めますか。

	人数	割合
非常に取り組む	276	37.1%
少しは取り組む	417	56.0%
あまり取り組まない	36	4.8%
まったく取り組まない	11	1.5%
無回答	4	0.5%
計	744	100.0%

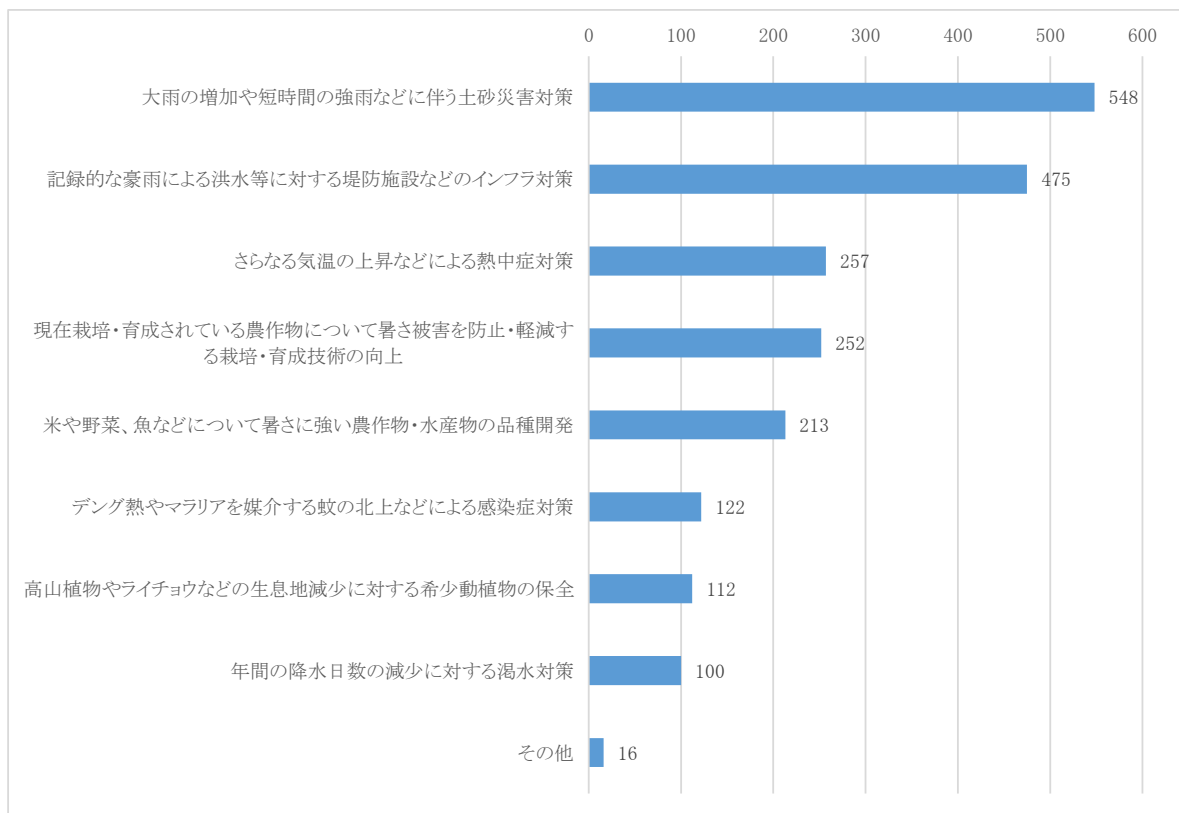


問5 気候変動により農林水産業や自然生態系、自然災害、健康、産業・経済活動、県民生活・都市生活でさまざまな影響が現れています。
あなたは、このような気候変動に伴う影響への対策について、県にどのような取組を求めますか。

(複数回答) 回答者 740 人

	回答数	割合
大雨の増加や短時間の強雨などに伴う土砂災害対策	548	74.1%
記録的な豪雨による洪水等に対する堤防施設などのインフラ対策	475	64.2%
さらなる気温の上昇などによる熱中症対策	257	34.7%
現在栽培・育成されている農作物について暑さ被害を防止・軽減する栽培・育成技術の向上	252	34.1%
米や野菜、魚などについて暑さに強い農作物・水産物の品種開発	213	28.8%
デング熱やマラリアを媒介する蚊の北上などによる感染症対策	122	16.5%
高山植物やライチョウなどの生息地減少に対する希少動植物の保全	112	15.1%
年間の降水日数の減少に対する渇水対策	100	13.5%
その他	16	2.2%
計	2,095	-

(人)



「その他」のうち主なもの

- ・ 災害発生の高い地域からの居住地移転
- ・ 気温上昇を防ぐため、公園の増設やアスファルト舗装でない砂利道などの整備

問6 今後、県が地球温暖化や気候変動への対策を進めるうえで、ご意見などがございましたらお聞かせください。(主な意見)

○地球温暖化対策について

- ・ 公用車がガソリン車というのはどうなのか。県総合庁舎や高校など、ソーラー発電や省エネルギーな冷暖房設備への切り替えを進めた方がいい。
- ・ 岐阜県は森林資源も多いと思いますが、上手く維持管理がされているとはいいいがたい部分もあるのではないかと思います。今ある貴重な資源でもある森林資源の管理についても、もっとPRをして、関心を持ってもらった方がいいのではと感じます。

○地球温暖化対策の周知方法について

- ・ インターネットやSNSでの広報は、それらが主に娯楽として楽しむ人が多い中では、進んで閲覧していく人はちょっと少ないかもしれません。まずはイベントや商業施設などで直接的に目にする機会を増やしていき、そのうえでどうやったらインターネット上で閲覧してもらえるかを考えていく必要があると考えます。
- ・ 地球温暖化による日常生活への影響を県民の方に具体的にお知らせする事がいいと思います。一人一人が何をどういうふうに改善していけばいいのかを知る事により意識して生活すれば、地球温暖化や気候変動の対策も前進すると思います。

○脱炭素宣言について

- ・ 県が2050年度までに温室効果ガス排出量の実質ゼロに取り組むことを表明することで、私生活にどのような影響があるのを具体的に示してほしい。コストや手間など負担の増加につながる、私生活に影響がある取り組みは避けてほしい。

○気候変動適応策について

- ・ 地方の人口減少および農業の高齢化に伴い、山、田畑を放棄する人が数年でかなりでて来ると思われます。現在、山、田等で河川に流入する雨量が緩和されているといいます。田の存続とそれに変わる洪水の対策が必要です。
- ・ 土砂災害、河川の氾濫を防ぐための堤防等の治水工事、熱中症対策として、学校での部活や体育の授業を無理をさせないよう指導するなど、人の生活や、健康、身体を守る為の対策を先ずはやってもらいたいです。

○その他

- ・ 自然と共生させた経済の有り方教育を行っていく事
- ・ 大学での研究など推進をお願いしたい。